

パンフレット「都構想」で大阪市はなくなります

なぜ？いま？暮らしはどうなる？

読んで、学んで

A5判60ページ
300円



対話を広げましょう

6月19日の法定協で、大阪市を廃止して4つの特別区に再編する都構想の「制度案」が維新・公明・自民の一部の賛成で、可決されました。

維新の会代表の松井大阪市長は、コロナ禍による住民の暮らしや営業の立て直しや第2波が心配されるこの時期に、11月1日に住民投票の実施を狙っています。

「成長を止めるな」のキャッチコピーや、マスコミの持ち上げによる一時的な知事人気を追い風に、まともな議論もなく、大阪の将来のまちの姿を変えてしまおうとしています。

試されているのは、私たちの学びと対話を進める力です。ぜひ、このパンフレットを広め、大・中・小の学習会や講座などで活用して、今度こそ、維新のこの野望を断念させましょう。



目次

- ◇大阪市壊しの住民投票 なんてまたやるの？
大阪市をよくする会 中山 直和
- ◇「大阪都構想」の財政的問題—その本質的欠陥とごまかし
立命館大学教授 森 裕之
- ◇コロナ禍を踏まえたカジノ資本の動向
阪南大学教授 桜田 照雄
- ◇大阪都構想・カジノへの対案
奈良女子大学教授 中山 徹

社) 大阪自治体問題研究所

TEL06-6354-7220 Fax06-6354-7228
E-mail oskijichi@oskijichi.or.jp

お名前		注文数	冊
お届け先			
TEL		FAX	